

中高一貫教育だより

～広尾の子どもは広尾で育てる～

第55号

令和2年

1月発行

発行者

広尾町中高一貫教育推進委員会



働くことの意義 しつかり考えよう！

8月21日(水)、インターンシップ報告会が広尾高校で開催されました。広尾高校2年生40名は、本年度6月11日(火)～13日(木)の3日間にかけて、広尾町内の企業等24カ所に受け入れて頂き、インターンシップを実施しました。この日は、それぞれの職場で体験した出来事等をまとめて発表し、広尾中学校2年生をはじめ、お世話になった企業の方々や、広尾小学校、豊似小学校の各生徒、本校1年生など、総勢200名が参観する大規模な報告会となりました。

今回の報告会では、体育館2カ所、3階多目的教室、第4講義室の4箇所で開催が実施され、広尾高校生は実習で学んだことや、働くことの意義について、力強く発表を行いました。広尾中学生は目を輝かせつつ、将来の進路への思いを育んでいるように見えました。

終了後に記入してもらった感想によると、中学生は働く上で大切な力とは何か、ということについて考察を深め、コミュニケーション力や積極性、責任ある行動の重要性を学んでいました。またそれだけでなく、堂々と発表する高校生に頼もしさを感じ、プレゼンテーションの手法や、日々の勉強姿勢などについても、学ぶところがあったようです。

一方高校生からは、同じ職場で体験していても「1人1人の気づきが違うことを発見した」、「将来の視野が広がった」などの声がありました。

中高語り場 9月12日(木)

9月12日(木)、広尾中学校体育館において、恒例の「中高語り場」が行われました。まず高校生から、中学校の頃の勉強などでうまくいったこと、高校に入って学んだこと、感じたこと、部活動のことなどを中学生に話してもらい、その後、中学生から話の内容について質問をしてもらいました。広尾高校1・2年生の代表生徒14名は、広尾中学校3年生と40分間にわたり、グループを替えながら本音で語り合いました。

中学生からは、勉強、部活、行事、進路など多岐にわたる質問がありましたが、高校生は1つずつ丁寧に答え、高校生活への不安を少しでも解消しようとしていました。終了後の中学生の感想では、「もっと勉強を頑張ろうと思いました。」「高校が楽しみになりました!」という嬉しい声も出ていました。また高校生からは、「今までの経験を振り返るよい機会になった。」などの感想が聞かれました。

この日は、午後に行われたオープンスクールと合わせて、中高一貫教育を意識する一日となりました。



中高広域合同清掃活動 10月3日(木)



10月3日(木)の午後、2時間にわたって、中高広域合同清掃活動が行われました。中学生と高校生が協力して町内清掃をすることで、一体感を高め合おうという取り組みです。中学生と高校生の混合チームが11チーム結成され、市街地や楽古川河口流域などを手分けして清掃しました。

清掃活動によって発見されたごみには、びん、缶、ペットボトルなどのポイ捨てとみられるごみが多いように感じられました。その中にはアルコール類のびん・缶と思われるごみも多く、大変残念でした。また河口流域ではタイヤが投棄されているのが発見され、生徒たちはとても驚いていました。

広尾高校厚生常任委員長 1年 甚野 元泰くんの話

「今年も行われた中高広域合同清掃では、中学生たちと交流を図りつつ、自分達が普段住んでいる広尾町をきれいにすることができました。

今回の合同清掃では、中高のグループでアイスブレイク等を中心に、交流を深めてから清掃活動を行ったので、両校とも話しやすかったのではないのでしょうか。

私は、高校に来てから初めてこの活動をさせて頂きましたが、中高でこのような活動をしているのは、とてもすごいと思いました。この活動を次年度にも引き継いでほしいと思いました。」



SCCの記録

SCCとは、Secondary Collaborated Class の略称です。これは、多様な能力や様々な適性を持つ広尾の子どもたち一人ひとりに応じた「きめ細かな学習指導」を通して「基礎・基本の確実な定着」を図っていくために、中学校と高校が連携した合同授業や出前授業、TT、チューター学習などを行うものです。今年度は、12月現在、以下のような取り組みが行われています。

○国語（古典）



11月29日（金）、広尾中学校において、中学校1年生を対象に古典の中高交流授業が行われました。広尾高校からは2年生の Academic コース選択者が4グループに分かれて参加し、それぞれ『枕草子』、『徒然草』、百人一首、古典単語や平安文化等のクイズを中学生に紹介しました。高校生は、古典に初めて接する中学生が楽しめるように様々な工夫をこらしており、クイズの意外な展開に笑い声も聞こえる充実した時間となりました。

○数学



9月9日（月）、広尾高校では、広尾中学校から大木研希先生をお迎えし、中学校の復習、学び直しを目的に、高校1年生を対象に関数の授業を行って頂きました。高校生は半年ぶりに大木先生の熱意溢れる授業を受けて大いに盛り上がり、中学校と高校の学びが連続していることを再認識できました。

さらに10月9日（水）には、広尾高校1年生の Super コース選択者が広尾中学校を訪れ、中学校1年生に対して数学を教えるという取り組みを行いました。

高校生たちは中学生1年A組・B組それぞれに、過去の学力テストの内容を教えました。高校生は教えることの難しさを実感すると同時に、共に問題を考え、学び合うことの喜びを体験することができました。また中学生も、今は苦労して解いている問題を、3年後の自分たちがすらすらと解く姿をイメージできたことでしょう。



○体育



12月6日（金）、広尾高校体育館において、中学校2年生と、高校3年生の科目「生涯スポーツ」選択者8名の合同授業が2時間にわたって行われました。鉄棒・マットを用いた器械運動の授業で、高校生は積極的に様々な運動を教え、中学生は笑顔もこぼしつつ、明るく生き生きと運動に挑戦していました。

高校生にとっては、人に教える難しさを経験する貴重な機会となり、会話の大切さを理解することができました。このような授業を通じて、身体の発達に応じて様々な運動に挑戦できることを体感し、生涯にわたってスポーツを楽しむ心を育んでほしいものです。

○理科



10月4日(金)、広尾高校1年生の化学基礎 Basic コースの授業に、広尾中学校から三宅史人先生と井下裕喜先生をお迎えし、授業を行って頂きました。内容は、物質量 (mol) の計算です。化学基礎の範囲の中では、非常に重要な概念であり、かつ理解に時間のかかる分野でしたが、中学校と高校の教員が結束して高校生たちをサポートしました。高校生たちは懐かしい先生の登場に大喜びで、いつも以上に勉強にも熱が入っているようでした。

○社会

12月16日(月)、広尾中学校2年生の社会の授業に、広尾高校から中野俊光先生をお迎えし、北方領土をテーマに授業を行って頂きました。中野先生はかつてビザなし交流に参加された経験を生かし、その際の写真を含む様々な図版をふんだんにもちいながら、北方領土の地理的知識、歴史的経緯、ビザなし交流の現状などについて、網羅的な授業を展開しました。中学生たちは、北海道のすぐ隣にある島々に思いを馳せつつ、目を輝かせながら聞き入っていました。



中高生徒会交流 10月23日(水) & 11月20日(水)



10月23日(水)と11月20日(水)、広尾中学校と広尾高校の生徒会交流が行われました。この交流会は、第1回でお互いの生徒会実践を知って、課題や改善点を明らかにし、第2回ではその解決策について討議するものです。

未来の広尾を担う若きリーダーたちは、今後の望ましい学校のあり方について積極的に議論し、それぞれの考え方を発信、共有していました。白熱した議論から、学校をより良くしていこうという強い意欲を感じることができました。

広尾高校第71期生徒会長 佐々木 琴葉さんの話

「今年度の生徒会交流は、例年以上に内容が濃く、課題を可視化することができたと感じました。

今年度は「礼儀と積極性」をテーマに中高の生徒会で話し合いました。日々の挨拶や行事等での積極性が両校共に改善すべき点として挙げられ、この2つを意識して生活するためにはどういった活動を行っていけばよいか、中学校の意見を交えつつ考えることができました。高校だけでは思い浮かばなかった新鮮な意見を取り入れることができたので、より良い交流へと繋がられました。

この活動は、中学校との交流を図りつつ学校全体を変えられる大切な取り組みの一つだと思うので、今後はより一層両校が進展していけるような活動にしていきたいと感じました。」

